

もっと「快適に」を極める!?

特別
付録

キャンピングカー用
パーツガイドBOOK

オートキャンパー

AUTO CAMPING CAMPER

for ENJOY CAMPING CAR LIFE

平成30年12月15日発行(毎月1回15日発行) 平成3年8月2日第三種郵便物認可 第29巻 第1号 通巻332号

CAMPINGCAR
PARTS GUIDE BOOK

FIAMMA F45

1 2019
月号
毎月15日発売

「アクティブ
車中泊派」
ユーザー注目!

NEW CAMPINGCAR ALL ALBUM

2018-2019
総集編

NEW

キャンピングカー

オールアルバム

2018年に登場した
日本で買えるキャンピングカー
すべてアナタに「魅せ」ます!?

冬の車中泊
の極意!

私はコレで買いました!
キャンピングカー
オーナー事情



本格派4WDミニバン
新型デリカD:5が大胆に進化!



ビークル リアージュ

几帳面な性格から整理整頓はバッチリ。そのための加工も



マット裏を使い
キレイに収納

●ベッドマットは立てかけた状態で収納して、リヤの荷物が動かないようにネットで固定。何をどこに置くのが決めて収納している。マットのカバーはお手製で、母親に頼んで作ってもらった



●これは市販のシューズボックス。納車前に購入しており、予定は横向きに置くはずだったが、車体の一部変更があり設置向きを変更

●夏場、少しでも快適に就寝できるように、納車前から網戸を購入。専用用品でキャンパンのスライドドアにぴったりのサイズ。装着も簡単で、操作性も問題なしのアイテムなのだ



自身の経験と安全性を重視して日産車を選択



●セカンドシートを反転させて、横座りのサードシートとL字型ダイネットを形成。基本は3人なので、この状態でも問題ない。パソコンであっても、これだけゆったりと過ごせるのも特徴なのだ

「本 当は同じビークルのフューチャーが欲しかったのですが、ベース車の設定はハイエースですからね。安全性を優先すると自動ブレーキとアラウンドビューモニターは必需品と考えていましたから、必然的にキャンパバンベースとなって。だったら出たばかりのモデルがいいとリアージュに。それも市販1号車を購入しました」

以前は日産関係の仕事をしており、前車もエルグランドだった。日産派でもあるのだが、車体のマークは隠されているし、車名のエンブレムも…。それはさておき乗り替え理由としては、

エルグランドもシートがフラットにはなるが、家族がキャンピングカーがいいと言い、実際に見積もりを取ったところ現実的な金額だったので購入。

「下取りもよかったですし、納期に関しても高レスポンスで。2018年2月のショーで見ても半年足らずで納車でしたから。その間にホイールやカーナビを買いそろえて、クルマが来たら即装着しました」

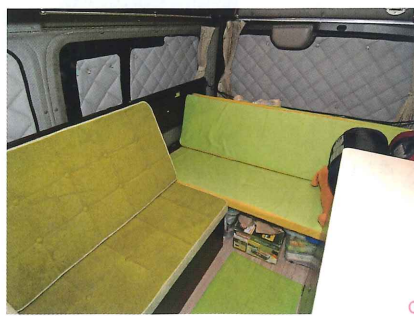
リアージュはセカンドシートを備えているので、同乗者も快適に移動できる。ダイネットはL字型だが、最後部マットを変更して着座位置の自由度を拡大。それにもっとも重視したベッドサイズについても…。

「私は身長が186cmあるので大きなベッドでないと無理なのです。その点では、2段のベッドは上下段とも十分な長さですから。子供と分かれて寝ますが、まったく問題ありません」

走りに関しても、ガソリンエンジンだが2500ccの排気量なのでパワーは十分であるほか、トルクもあるのでゆったりとした走行ができるという。全高を気にする必要はあるが、ファーストカーとして、日常はもちろん、休日フル活用している。

何でも自身で装着 プロ並みの器用さなのです

A.10インチのフリップダウンモニターを設置。たまたまジャマにならないのがメリット B.サブバッテリーを管理するために電圧計と残量計をDIYにて設置。電気知識もあり、配線図から書き起こすこともあるという C.上段ベッドマットを3枚から4枚に変更し、コの字型ダイネットを展開可能にした



D.ノーマルホイールでは見た目のアルミホイールとワイドタイヤを購入 E.日産のエンブレムは黒のカッティングシートを貼り込んだ。黒のラインはリヤハッチにも入っている

再会した仲間とバーベキュー

●こちらは屋根付きのバーベキュー場で、夜間でも利用できるように照明付き。中央に炉台を増やして大人数にも対応可能だ



●網やアルミのプレート、トングまであるので、炭と食材を用意するだけ。片づけの手間がなくバーベキューを満喫できるのがメリットなのだ



●過去のオーナーズミーティングで知り合った仲間と、いっしょに楽しんでいたグループも。持ち寄った食材でおなかも満たして大満足！



参加車両のメンテナンスも実施

●メンテナンスといっても主催のビークルがやるのではなく、ここで知り合った車両に詳しいユーザーが、仲間の調子の悪いヘッドライトを整備。その場で対応する工具も持参



●本誌協賛のオリジナルアイテムを景品としたじゃんけん大会を実施。目玉はタオルマフラーだったが、意外と過去に製作したオリジナルステッカーセットがウケた



子供が喜ぶじゃんけん大会

キャンプ大会版 隣のキャンピングカー



自分仕様のセミオーダー車

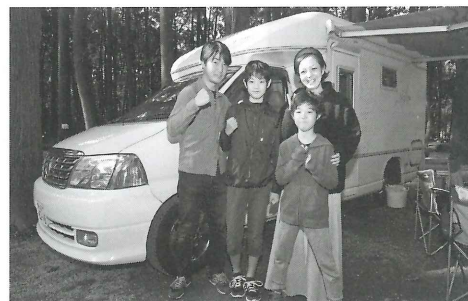
デュオS+ベッセルJ
川崎市 | 高橋誠一郎さん

車両を購入する際に、もっとも欲しかったのが、リビングと仕切れるマルチルームだった。まずはそこでベッセルJの後部レイアウトをアレンジした仕様を採用。ダイネットは2人で使うだけなので、前向きセカンドシートは不要。そこで横座りの対面ダイネットのデュオSでゆったり仕様にした。まだ納車後間もないが、CO₂アラームや防寒用カーテンを装着して、安心と快適性を向上させている。

ベッセル | 埼玉県 | 鳥島勝則さん
すべてが気に入って、10年間所有



約10年前にランドハイエースから乗り替えた。以来買い替えることなく乗っているのは、すべてが気に入っているから。「家族4人で長期旅行にも出かけます。キャンプ場も利用しますが、車中泊もしますね。サブバッテリーが容量不足にならないようにソーラーパネルを装備しています」。今回も大学生と高校生の娘を連れての参加。フラットにした全面ベッドで、4人ゴロゴロと寝るのが定番スタイルだ。



往年の名車を乗りこなす
ティアラ | 埼玉県 | 西條昌克さん

過去にビークルで販売していた唯一のキャブコン。ランドハイエースをベースにしており、車内は個性的なレイアウトの独自架装モデル。たまたま中古車で出ており、自宅駐車場に止められるのを確認してから購入。家族4人でキャンプはもちろん、普段の足としても利用している。「充実の装備内容でフル活用しています。日常使う際は駐車場の高さだけ気にしていますね」と話す。

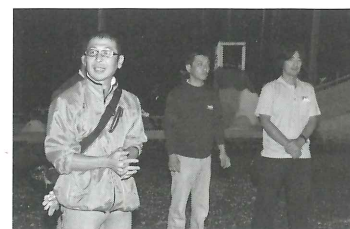


AUTOCAMP meeting report



アウトドアでのアクティビティを満喫したキャンプ大会
第6回ビークル
オーナーズミーティング
開催日●2018年11月10日(土)～11日(日)
場所●柏しようなんゆめファーム(千葉県柏市)
主催●ビークル

「キャンプ大会のような大規模イベントではなく、あくまでもユーザーの交流の場として開催しているオーナーズミーティングなんです」と藤森毅行店長は言うが、すでに今回で6回を数え、立派なイベントになっている。その証拠に、参加申し込み初日に定員30台に達して、1日で締め切ったほど。過去には不定期開催だったが、最近では年1回の定期開催になっているのでユーザーに定着しており、リピーターが多数なのだ。これまでは千葉県の清水公園や九十九里のキャンプ場で開催していたが、今回は初めて柏しようなんゆめファームを利用。たまたまテレビで紹介していたのを見て、現地視察をして決定した。木々に囲まれた森のなかにあるキャンプ場でありながら設備が充実しており、電源やバーベキュー施設、コテージなど、手ぶらで来ても楽しめるのだ。あくまでもユーザーの交流の



●バーベキューの前に藤森毅行店長(左)からのあいさつ。この日はほかに、営業スタッフ1人と工場長、現場スタッフの計4人に対応。トラブルもなく2日間過ごした

場なので特にイベントはなかったが、夜にはみんなが集まってバーベキューを楽しんだ。その後は各サイトで自由に過ごしたのだが、初冬とはいえそれほど寒くない日で、屋外でも何とかなる気温。気の合う仲間が集まって夜更けまで語り合った。翌日はじゃんけん大会と記念撮影をして解散。キャンプ環境のよさもあるが、みんな大満足だった。そして「また来年」を合言葉に、それぞれが帰路に就いたのだ。

柏しようなんゆめファーム

千葉県柏市布瀬89-1
www.yumefarm.jp/

●森のなかに作られたアウトドア施設。もっとも充実しているのがバーベキュー場で、それぞれに炉台があり、網やプレート、トングも付属。木々に囲まれたキャンプサイトは1区画が大きく、ゆとりの作り。電源付きのエリアもある。さらに、スケートボードパークにスカイダベンチャー、ファミリープレーパークと、場内で目いっぱい子供が楽しめる

